

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
富士山と環境			選択	2	1.2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
神谷 直樹 他		C312	nkamiya		木曜日 10:30～12:20	
授業の目的・概要		<p>・この授業は、富士山とそれを取りまく環境に対する関心を深め、実地に基づく調査・研究の方法や具体的な成果を吸収することを通じて環境科学の基礎を学ぶとともに、世界文化遺産としての富士山についての理解を深めることを目的とする。</p> <p>・この授業では、富士山周辺の環境や、地球環境と人間生活のかかわり、世界文化遺産としての富士山について、それぞれの分野で研究している先生方に、わかりやすく講義していただく。Microsoft Teams を利用して同時双方向型の遠隔授業を行う。</p>				
学習上の助言		Microsoft Teams を利用して毎回の講義のテーマの概要を事前に知らせるので、予習をしておくこと。また、毎回の課題には積極的に取り組むこと。				
教科書		使用しない。				
参考書		特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	自然観察のさまざまな方法について理解し、説明できる。				HSU(2)	
②	環境問題の現状と課題について理解し、説明できる。				HSU(1), HSU(2)	
③	環境保全のために必要な対策について理解し、説明できる。				HSU(1), HSU(2)	
④	富士山や富士五湖の成り立ちと特色を理解し、説明できる。				HSU(2)	
⑤	火山の噴火と防災について正しい知識を身につけ、説明できる。				HSU(3), HSU(4)	
⑥	世界文化遺産としての富士山に関する正しい知識を身につけ、説明できる。				HSU(2)	
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	この授業の概要。富士山と環境の研究方法を学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 9月3日(金) [神谷直樹]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	
2	国立公園、世界遺産、富士山の自然資源の管理について学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 9月17日(金) [三ツ井聡美]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	
3	信仰の対象としての富士山、富士講について学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 9月24日(金) [神谷直樹]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	
4	地球環境変動、大気循環、水循環、地球温暖化について学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 10月1日(金) [山本真也]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	
5	環境保全、衛星画像、リモートセンシングについて学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 10月8日(金) [杉田幹夫]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	
6	植物群落、森林、攪乱、遷移、外来生物について学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 10月15日(金) [安田泰輔]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	
7	人間と環境、環境問題の歴史、環境科学について学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 10月22日(金) [池口 仁]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	
8	植生の歴史と概要、植林地での生物多様性について学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 10月29日(金) [大脇 淳]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	
9	火山噴火のめぐみとしての富士山、富士五湖について学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 11月5日(金) [内山 高]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	
10	富士山を取り巻く自然災害とその対応について学習する フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 11月12日(金) [久保智弘]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。		4	

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

11	農村と都市の生活様式の違いと郷土食について考える。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 11月19日(金)[堤 美智]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4				
12	大型草食獣の生態、富士山の大型草食獣について学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 11月26日(金)[高田隼人]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4				
13	民俗学、生態人類学、聞き取り調査などについて学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 12月3日(金)[小笠原 輝]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4				
14	芸術の源泉としての富士山について学習する。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 12月10日(金)[神谷直樹]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4				
15	富士山をめぐる研究を振り返り、将来の仕事と関連づける。 フィードバック：課題返却にて実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 12月17日(金)[神谷直樹]	同時双方向型授業	Teams 上の課題に取り組む。	4				
試	学期末レポートで行う 達成度評価・評価のポイントを参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)			試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
			0	55	0	0	45	100
総合力指標	知識・技術力		0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力		0	15	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ		0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力		0	15	0	0	0	15
	コミュニケーション力		0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲		0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力		0	15	0	0	30	45
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点					
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	学期末にレポート（2000字以上）を提出する。授業中に示したテーマに関連する適切な文献・資料を収集し、それをもとに自分自身の考察をレポートにまとめる。執筆要領を熟読し、大学生にふさわしい内容・構成がしっかりしたレポートを作成する(55%)。レポートの評価基準と執筆要領は Teams 上に示しておく。				レポートはコメントを付して返却する。また、最終講義のなかで全体講評を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回授業の終わりに課題の提出を求める。授業を通じて理解したこと、疑問に思ったこと及び自分の考えなどについて記述する（3点×15回）(45%)。課題の評価基準は Teams 上に示しておく。				提出された課題は、採点して返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

備 考

担当教員：神谷直樹、堤美智

この講義は、山梨県富士山科学研究所の先生方をはじめ、各分野の専門研究者のご協力によって成り立っています。普段は学ぶ機会がない分野の講義も多いので、未知の分野への旺盛な知的好奇心を忘れずに受講する必要があります。同時双方向型の授業中はノートを取りながら傾聴し、授業後に **Microsoft Teams** を使って課題を毎回提出しなければなりません。

Teams を使って遠隔授業を行います。資料や課題のダウンロードもあるので、通信容量に制限がある場合は通信量に十分に注意してください。授業時は、通信容量が無制限の **Wi-Fi** 環境を推奨します。